



自治労連
新聞

ふりーじあ

全国自治団体労働組合連合

ふりーじあ 第21号
発行日：平成27年11月
自治労連教宣部発行

本部 〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 北区役所B1 全連協事務所内 (03)3907-5177

第25回全国代表者書記長クラス合同会議が 山口県下関市で開催されました

10月24日(土)から25日(日)の2日間にわたり、山口県下関市において、各単組から代表者・書記長クラス約40名が参加のもと「自治労連第25回全国代表者書記長クラス合同会議」が開催されました。

下関市職員組合小賀進委員長のご好意で提供していただいた、ご親族が経営される遊福旅館大広間と、近隣の入江町民館で行われたこの会議では、多くの自治体が来年4月から導入される「人事評価制度」についての学習会と、私たち自治労連とはどのような組織なのかを再確認することを目的とした「自治労連とは」の二つの議題について活発な議論が行われました。



■会議一日目・入江町民館会場
《人事評価制度について》

講師 澤重業務対策部長



【澤重講師】

人事評価制度は、平成26年3月の第186回国会において、能力及び実績に基づく人事管理の徹底を図るための法律案「地方公務員法及び地方独立行政法の一部を改正する法律案」が衆議院、参議院ともに賛成多数で可決され、平成26年4月25日に成立、同年5月14日に交付されました。改正法の施行期日は、「公布日から起算して2年を超えない範囲において政令で定める日」とされており、平成28年4月1日からの施行を前提として各単組で準備が進められています。

会議初日、澤重講師が人事評価制度の概要説明を行った後、グループに別れ、各課題に沿ってワークシヨップ形式で議論が行われました。

「議題1」 評価方法は絶対評価、相対評価のどちらが良いか？

「議題2」 公正、公平な評価制度にするためには？

「議題3」 昇任、降任、転任、分限、昇給、勤勉手当などの処遇への連動は？

「議題4」 評価方法、公正公平な評価制度、処遇への連動などの、交渉方針で重視する順位について

■会議二日目・遊福旅館会場
《自治労連とは》

進行 関谷教育宣伝部長

二日目の会議は、自治労連組織としての考え方や活動を再確認する目的で行われました。6月の大会で新体制となった執行部が、任期の2年間でどれだけ活動ができるか、また、どれだけ組合員や単組のニーズに添えることができるのかを考えたとき、執行部としての考えや行動が、それらのニーズに対応した効率の良いものになければなりません。そのために、単組やその代表者、書記長クラスの方々の意見を伺い、自治労連という組織の基本的土台を、単組と産別で再確認し、お互い連携を取りながら次世代へ引き継いでいくことが重要です。

【代表者書記長クラス合同会議の記事は2頁】

自治労連全国ユース世代単組間交流会が

長崎県大村市で開催されました

平成27年度の自治労連全国ユース世代単組間交流会が、10月17日(土)長崎県大村市で開催されました。

この交流会は、全国のユース世代組合員を対象に、公私にわたるネットワークの強化を目的として毎年開催されています。

まずはボートレース発祥の地で知られる「ボートレース大村」の見学。ロイヤルスタンドでレースを予想して舟券を購入。この日行われた蛭子能収杯の準決勝進出戦は舟券を購入していたこともあり、熱い観戦となりました。

その後、送迎バスで「おおむら夢ファーム シュシュ」へ移動。手作りソーセージを体験し、その場で行われた懇親会では、自ら作ったソーセージを食べながら楽しい一日を過ごしました。

【全国ユース世代単組間交流会の記事は4頁】

自治労連第25回全国代表者書記長クラス合同会議（下関市）

人事評価制度について（24日）

4つの班をAとBの二つに分けて会議を進めました。

例・評価者研修
例・評価制度を職員に周知するには

例・評価者研修
例・評価制度を職員に周知するには

例・評価者研修
例・評価制度を職員に周知するには

例・評価者研修
例・評価制度を職員に周知するには

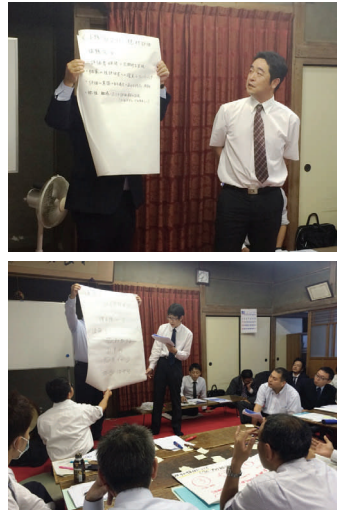


課題①評価方法についての議論

1班の回答「その他」
・どちらとも言い難い。よく話し合って結論を出さないと難しい。
2班の回答「絶対評価」
・分布率のある相対評価だと、良い評価の職員も結果的に良い評価とされない場合がある。

課題②公正公平な評価結果

1班の回答
・評価者研修の開催
2班の回答
・評価者の定期的な研修
・被評価者への確実なフィードバック
・評価に意義がある場合の適切な対応



課題③処遇への連動

3班の回答「基本的には全部連動」
・頑張った人は認めるべき。
4班の回答「降任、分限以外連動」
・職員の生活を守るべき立場として、降任や分限は認められない。

課題④交渉の優先度

3班の回答「連動↓公平性↓方法」
・どう使うのかの目的を最優先。
4班の回答「公平性+方法↓連動」
・どのような評価方法か、また、公平な評価ができるのかを理解した上で、処遇への連動を交渉する。

各班からの発表後、すでに評価制度が導入されている玉野市の実情を、玉野市役所職員組合の大前委員長から説明を受け、質疑応答を行い、初日の会議日程を終えました。



□業務対策部総括

自治労連は、人事評価制度の基本は、「職員間に格差をつけることが目的ではなく、人材育成のための重要なツールであり、被評価者の能力や仕事ぶりを評価して本人にフィードバックすることにより、職員の能力開発、人材育成につながり、被評価者を成長させ、組織の業績・成果を向上させていくために行うもの」であると考えております。
今回の会議では時間も足りず、明確な答えを出すことができなかったかも知れませんが、協議した内容を活かして制度導入に向けての交渉をしていただければと思います。

自治労連とは（25日）

私たち自治労連という産別は、組合員と単組の集合体です。一人ひとりの意見に耳を傾け、組織に反映させていくことが大切だと考えます。
大きくは組織ですが、自治労連の良さを伸ばし、強化していくことが自分たちらしさを作り上げ、魅力ある組織に成長していくものと考えています。
この会議では、参加者を三つのグループに分け、単組目線と産別目線を比較し、基本的土台となる部分に相違がないことが確認できました。

①自治労連の良いところを確認する

- ・住民目線 ・優しい
- ・単組の考えを尊重する
- ・単組同士が交流しやすい
- ・中央からの縛りが無い
- ・友好的で強制的ではない
- ・民主的 ・個々を尊重する
- ・アットホーム ・情報が早い
- ・権利ばかりを主張しない
- ・仕事との両立ができていく

②自治労連の課題

- ・組織拡大 ・未加入組織オルグ
- ・さらなる情報共有

③自治労連のイメージを確認する

- ・濱村委員長 ・住民目線 ・友愛
- ・小さい組織 ・青 ・優しい
- ・自由にして民主的な労働運動

④3グループそれぞれにグループ名を付け自治労連加盟単組として目指すことと、望む未来像を発表する

チーム「ハブ酒に飲まれて噛まれた会」
組織拡大と組合員の生活の向上、親睦等に努める。また、地域等のボランティア活動にも積極的に参加する。
保障の充実、生きる豊かさ、生活基盤の確保を目標とする。

チーム「グレープ」

自治労連の活動を理解した上で、組合活動とプライベートの両立を図れる単組を目指し、組合員の笑顔を作り出すことを目標とする。
福利厚生充実をはかり、激務などによるストレスを解消し、みんなが笑顔で住民サービスにつなげる仕事をしていくような未来を望む。

チーム「仮称イハイズム」

自由にして民主的な労働運動を実践しながら、組織拡大を図り、若い組合員を育成するとともに、自由な意見を提言できる環境を作り、相互による助け合い、福利厚生の実を図り、職場の親睦を深めながら地域社会へ貢献できる組織を目指す。

⑤「自治労連とは」を各グループで発表
チーム「ハブ酒に飲まれて嘯まれた会」
「自治労連とは友愛精神」

自治労連は友愛精神の一言に尽きる！

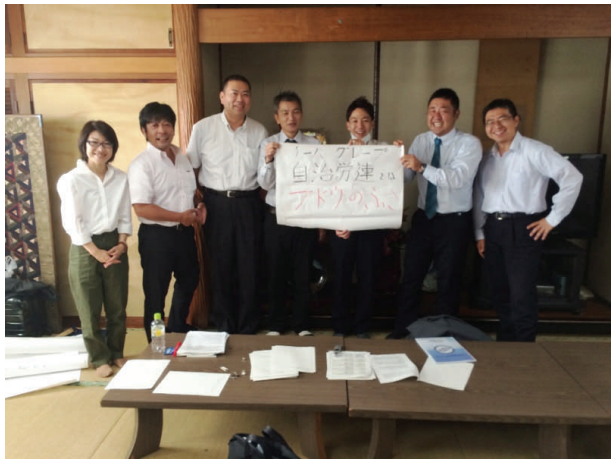


【チーム・ハブ酒に飲まれて嘯まれた会】

チーム「グレープ」

「自治労連はブドウのふさ」
葡萄は房ひとつでは細くて頼りなが、周りにたくさんの実が生ることによって大きくなり、生活を潤してくれる。
また、私の好きな映画で、ワイン作りをしていた葡萄農園が火事で焼けてしまい、農園全体が絶望感に打ちひしがれていたとき、たった一つ残っている葡萄の木を見て、また一からやり直すという物語の映画がある。

その木のように組合員が辛くて疲れて絶望しているときに、みんなの希望となるような組織でありたい。
(長洲町職員組合・川島委員長談)



【チーム・グレープ】

□教育宣伝部総括

私たち自治労連は、産別としての考えに、単組や組合員と温度差があつてはならないと考えています。組合員一人ひとりの意見に、いかに耳を傾けられるかが重要です。また、権利ばかりを主張せず、地域の目線を大切にして是々非々の立場で活動することが基本です。それが私たちの「自由にして民主的な労働運動」です。
今年度の会議は、今後、教育宣伝活動をしていく上で、単組と産別の考えに温度差がないかを再確認し、私たち産別執行部が取るべき行動を明確化する目的で行いました。約50年間の活動にブレが無いことを確認できた、まさに葡萄の収穫のような、実のある会議となりました。

チーム「仮称イハイズム」

「自治労連 友愛精神 まっしぐら」
地域に根ざして50年、これからもこの基本理念を基に頑張っていきましょう！



【チーム・仮称イハイズム】

□濱村中央執行委員長総括

二日間にわたる会議お疲れ様でした。昨日の人事評価制度については、導入済みの自治体、未導入の自治体それぞれあると思います。自治労連組織としては、まだ未導入のところが多々あります。昨日の内容を考慮しながら交渉を進めていただければと思います。また、それらについては、新たな情報が入り次第すぐに提供してまいります。また、本日の内容についても、自治労連としての考え方や基本理念の確認ができましたので、ホームページなどで反映させていただきます。自治労連の良さをアピールしてまいります。みなさま二日間お疲れ様でした。
最後に二日間お世話になりました小賀委員長をはじめとする下関市職員組合の皆様と遊福旅館の皆様、本当にありがとうございました。

公務労協第13回総会が
開催されました

10月30日(金) 東京都千代田区飯田橋ホテルメトロポリタンエドモントにおいて、公務労協、公務員連絡会、地方公務員部会の総会が開催されました。自治労連からは濱村委員長、湧川副委員長、関谷副委員長、唐田書記長が出席しました。また、来賓として連合の逢見事務局長(UAゼンセン)が出席しました。

公務労協 第13回総会



【連合・逢見事務局長】



【左から湧川副委員長・唐田書記長・濱村委員長】

2016年度役員	議長	事務局長	濱村委員長	湧川副委員長	唐田書記長
公務労協	加藤良輔(日教組)	吉澤伸夫(自治労)	—	—	運営委員
公務員連絡会	石原富雄(国交連合)	吉澤伸夫(自治労)	副議長	幹事	企画調整委員
地方公務員部会	永井雅師(全水道)	加藤達夫(日教組)	部会副議長	幹事	企画調整委員

自治労連全国ユース世代単組間交流会in大村

10月17日(土)

長崎県大村市

□ボートレース大村

交流会集合場所のボートレース大村で、大村市職員組合の松本書記長が歓迎のあいさつを行い、工藤ユース部長のあいさつを経て、集合写真の撮影をした後、活動を開始しました。



ボートレース大村は、昭和27年4月6日にモーターボートレースを日本で初めて開催した「ボートレース発祥の地」として知られる、最も歴史あるボートレース場です。
年間約180日レースを開催しており、大村でレースを開催していない日は他のボートレース場のレースの発売を行っています。

□夢ファームシユシユ

おおむら夢ファームシユシユ内にある調理室にて、カラフルなエプロンを身にまとい、シユシユのスタッフからの説明を受け、グループに分かれてソーセージ作りが始まりました。



ソーセージ作りは太くしすぎると腸が破れてしまったり、細くしすぎると食べごたえがなくなってしまうりしてしまふので和気藹々としながらも慎重に作業。ソーセージを詰め終わったら記念撮影、器具の片づけを行い、詰めたソーセージをゆでている間、地元の農産物で作られたアイスクリームを食べてもらいました。



完成したソーセージはシユシユのレストランで行われた親睦会でおいしくいただきました。



今回の交流会を実施するにあたり、主催者としてきちんと皆さんをおもてなしすることができたか不安ですが、和気藹々と交流することができてとても楽しかったです。自分たちで企画、準備等を行うことも初めてでしたが、とても良い経験になりました。
多方面からご支援をいただきました方々に厚くお礼を申し上げます。
【大村市職員組合ユース部】



下関市職員組合

第48回定期大会開催

晩秋の中、第48回定期大会が10月23日、開催されました。ご来賓の方々、組合員の皆さんに感謝申し上げます。
下関と言えば、ふく(福)、くじら(親分(委員長)でございます。親分の顔を、見れば、御利益があると、信じられております???

是非、海響の街 下関へ。心より、お待ちしております。

【下関市職員組合 書記 中村洋子】



編集後記 地域に愛されて

下関市で行われた全国代表者書記長クラス合同会議。ご利益があると言われている某親分と夕方食事に出かけたとき「よう小賀!」と親分が地域の仲間へ声をかけた。すると親分が「東京とか全国からみんな来てて。すかさず私も、こんにちは。」「この感じ、他のどこかでも...?」「そう、この感じが地域に愛されている証。」「5月に荒尾市新職の大会に出席したときも、大会翌日、東京への帰り道、濱村委員長が「あまり時間ないけど万田坑見ろ?」「私は万田坑を見たかったので現地に行きた。すると「濱ちゃん今日どうした?」と男性。「東京から客が。でも時間がなくて「ちよつとだけ中を見るかい?」「じゃあ少したけ「中に入るとさらに2、3人が濱ちゃん今日どうした?」「東京から...」と繰り返す。」「の感じ、数年前に八代市の商店街を八代市職の西濱顧問と当時の委員長松永氏と歩いてきたときも...。地域の方に「彼らはいい奴なんだ。本当に本当にいい奴なんだ。」と何度も言われ...。」「さらにその数年前、周南市で、当時の周南市職員委員長神杉氏と歩いてきたときも...。」「神杉ええ奴なんよ。本当にええ奴なんよ」と職員らしき人が延々と...。」「自治労連の仲間が地域に愛されていると実感した、ちよつと幸せな瞬間でした。(教育宣伝部長・関谷)